

元気を取り戻せ、鬼怒川

横田、木庭、松山

1. 準備に関する反省と感想

まず準備の段階で挙げる反省点は夏合宿時点での仕上がり度である。班員の予定が合わなかったのもあるが、その時点でフィールドワークを行うこともできておらず、ネットや文献から手に入る情報しか手元になかった。これにより合宿中の作業に支障をきたしてしまい、他班よりも進行が遅れてしまう結果となった。合宿等の日程は前々から確認できていたことなので、もっと努力すれば合宿前から早めに行動に移せていたと思う。ただフィールドワークを行った後の進行度は良いペースで進んでいたと思うので、最初からそのペースで作業ができていれば、プレゼンテーションの練習など本番を想定した準備のほうにも時間をより回すことができたと考える。

2. 報告内容とそれに対する質疑の概要

パワーポイントの内容に対して「要点が分かりにくい」という意見があり、少し情報不足で、もっとデザインを工夫するべきだった。しかし「簡潔で見やすい」という、好印象な意見もあった。一番多く挙げられていたのは「話し言葉が多かった」という点である。確かに説明に必死になりすぎて、発表の形式（姿勢）を崩してしまう部分が多々あった。ただ自分たちの話し合いでもプレゼンテーションの「姿勢（熱意、表情、原稿を見ない等）」を重視することを念頭に置いて取り組んだので、それらを評価するコメントも頂けたのはよかったと思う。

3. 合同ゼミに対する感想と反省

本番は他ゼミの班のどれもが、パワーポイントの完成度が高いだけでなくプレゼンテーションの仕方にも工夫されているところが多かった。それらと比較すると自分たちはまだまだ準備不足だったと思う。ただ、自分たちの班はプレゼンテーション全体を通してヒアリングやフィールドワークで得た情報やデータなどを要点ごとに使って印象つけさせることに重点を置いていたので、その部分が評価されたのは良かった。質疑応答の際はただ「わからない」と答えるのではなく、自身のフィールドワークと集めた資料の分析から推測だけでも答えられるように努めた。具体的な反省点としてはフィールドワークで得た資料を時間やスライドの関係で全部を出し切れなかったのは猛省しなければいけない上、所々で要領が悪かったようにも感じる。またプレゼンテーションも練習通りにいかない部分も多々あった。今後はパワーポイントの完成度は情報量を減らさず、見やすさ重視のパワーポイントの製作と、基本的なプレゼンテーションの姿勢のさらなる改善（言葉使い）を課題にしていきたい。